

## プロビジョナルレストレーションで 顎位・発音障害を改善した一症例

Improvement of the jaw position and speech disorder by way of provisional restoration



### 高倉 洋一

和田精密歯研株式会社富山事業所

室木 俊美 室木口腔外科医院・口腔インプラントセンター

村井 正寛 室木口腔外科医院・口腔インプラントセンター

山崎 一人 デンタルオフィス山崎

松原 五郎 まめだ歯科医院

【目的】唇顎口蓋裂の術後で17-27欠損症例に対してインプラント治療による顎位の安定および発音の回復を目的にプロビジョナルレストレーション（以下PRと略）の調整方法を検討した。

【方法】PRにて水平的・垂直的顎位の安定、歯周および審美的環境との調和、咬合の変化、発音に重要なS字隆起の付与を行った。検討内容は、患者の快適性を優先した。

【結果】チューイングサイクルや発音の改善のため、ヒアリングをもとに即重レジンでの調整で頻回に再評価を繰り返してきた。「喋ることが仕事だから」と円滑な会話の回復に向け、可能な限り患者の要望を反映させたことで、ファイナルレストレーションの調整はほとんどなく、最終的には患者の満足も得ることができた。

【考察および結論】患者の満足が得られる補綴物の作製には、病院を訪問し患者との直接的な意見の交換も重要であり、歯科医師とのチーム医療の有効性が示唆された。